

概要版

大田区実施計画

大田区持続可能な自治体経営実践戦略【取組編】

令和7（2025）年度～令和9（2027）年度



令和7年3月

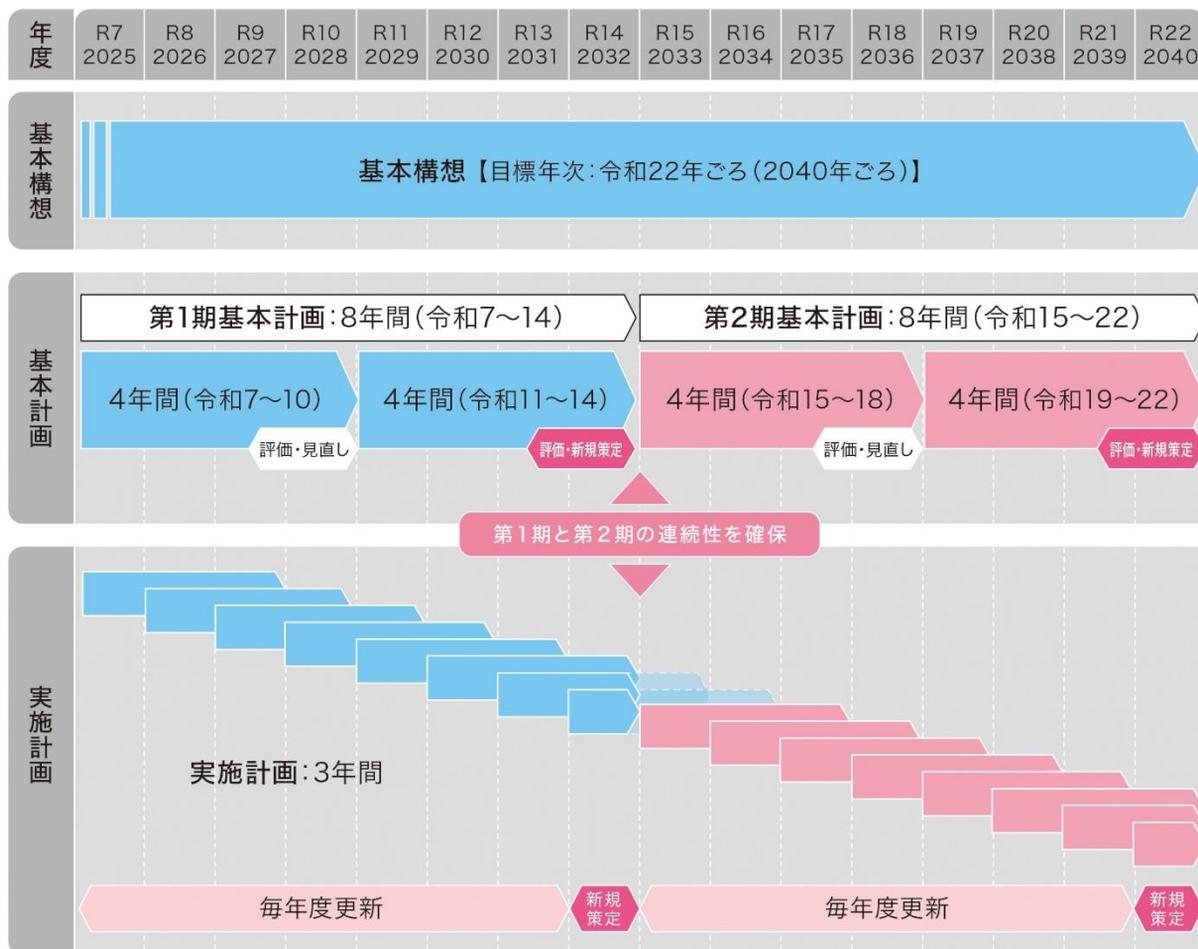
第1章 計画の基本的な考え方

1 計画の目的

実施計画は、向こう3年間で大田区が取り組むべき具体的な事業内容を、年度別計画として明らかにすることにより、基本計画を着実に推進することを目的としています。

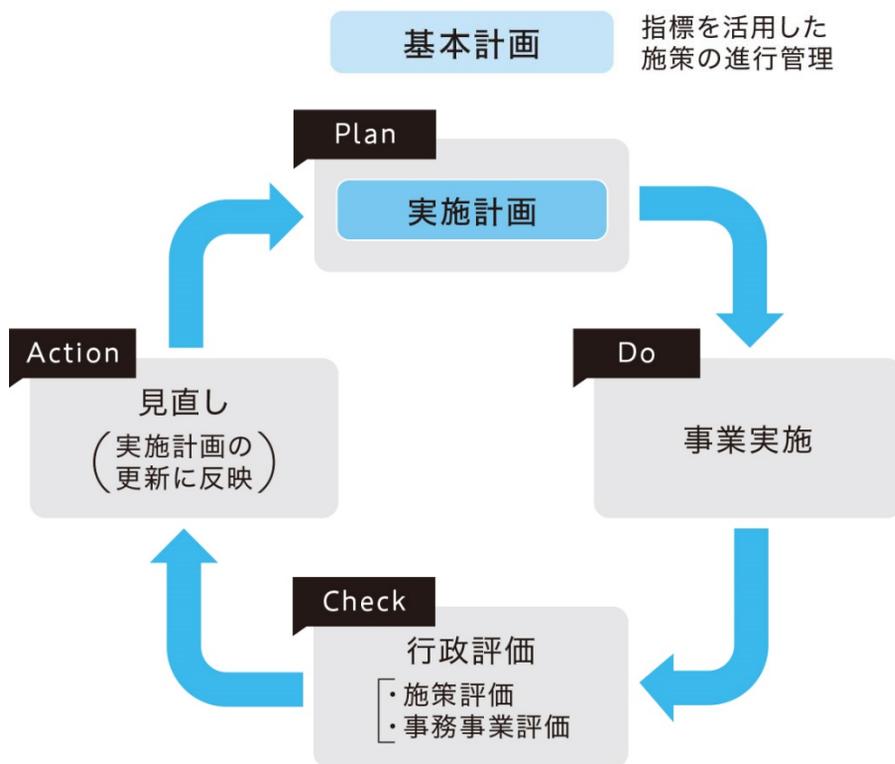
2 計画の期間

実施計画の計画期間は3年間とし、毎年度、更新します。



3 計画の進行管理

実施計画の更新に当たっては、施策評価及び事務事業評価の結果を反映します。評価結果は公表し、区の説明責任を果たすとともに、透明性や事業の質の向上につなげます。実施計画で定める指標は、必要に応じて追加、削除及び修正を行います。



第2章 共通課題に関連する事業

共通課題 1

子育て環境の充実にに関する取組 等

少子化



38事業

基本目標 1 : 35事業

基本目標 2 : 1事業

基本目標 4 : 2事業

共通課題 2

人と人との交流が豊かな地域づくり 等

つながりの希薄化



23事業

基本目標 1 : 9事業

基本目標 2 : 11事業

基本目標 4 : 3事業

共通課題 3

新たな担い手確保、生産性向上、
将来の地域を担う人材の育成 等

担い手不足



17事業

基本目標 1 : 3事業

基本目標 2 : 9事業

基本目標 3 : 2事業

基本目標 4 : 3事業

第3章 主要事業

基本目標
1

未来を創り出す子どもたちが
夢と希望をもって健やかに育つまち

施策1-1 こどもの権利が守られ、子どもたちが自分らしく育つ環境づくり

(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備 子ども家庭センターの運営

虐待防止事業

ヤングケアラー支援体制の充実

子ども家庭支援センターにおける
相談支援体制の充実

児童館における相談支援体制の充実

子ども・若者に対する総合相談

子どもが安心して過ごせる居場所づくり

離婚前後の子育て家庭への支援



(仮称) 大田区子ども家庭総合支援センター
及び子ども家庭センターにおける相談支援
(イメージ)

施策1-2 子ども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

妊婦面接・すこやか赤ちゃん訪問

産後ケア

ICTを活用した子ども・子育て家庭への
情報発信

一時預かり事業

乳幼児健康診査

出産準備教室

病児・病後児保育事業

保育士人材確保支援事業

地域連携推進事業

こどもの安全・安心確保事業

コミュニティ・スクールの推進

部活動地域連携・地域移行

ファミリー・アテンド事業



施策1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成

S T E A M教育等の教科等横断的な学び

情報活用能力の育成

おおたグローバルコミュニケーション
(OGC)の推進

学力の向上

読書活動の推進

食育の推進

教師力の向上

学校における働き方改革の推進



OGCルーム（海外体験ルーム）
における授業風景



学習カウンセリングの様子

施策1-4 一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備

児童・生徒等への相談支援の充実

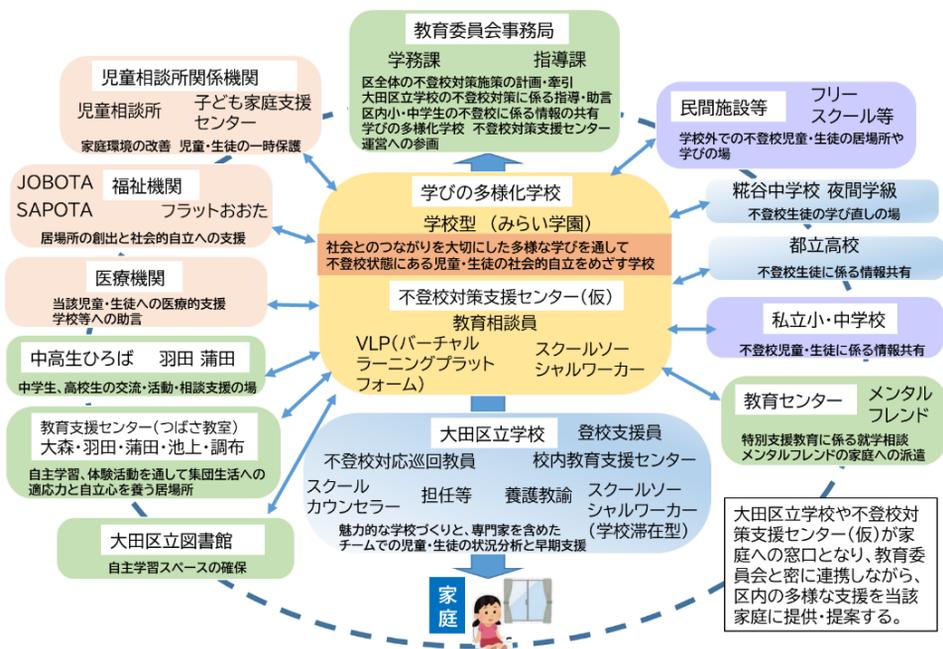
特別支援教育の充実

いじめ対応、不登校児童・生徒への支援

魅力ある学校施設の整備

I C T環境の充実

学びの多様化学校が開設する令和12年の支援イメージ



施策2-5 人々の相互理解と交流の促進

地域における国際理解・国際交流の推進

国際交流・多文化共生推進拠点機能の充実

男女共同参画推進事業

施策2-6 地域全体での健康づくりの推進と地域医療の充実

生涯を通じた健康啓発事業

特定健康診査等実施計画に係る事業

地域医療連携推進事業

施策2-7 スポーツの楽しさが広がる環境の整備

スポーツ参加機会の充実と情報発信の強化

スポーツ施設の利用促進・サービス向上

施策2-8 心ときめく豊かな地域をつくる 文化資源の創造と継承

文化芸術鑑賞・体験機会の充実

区所蔵美術品による文化創造空間の創出

郷土博物館における取組の推進



施策2-9 生涯にわたる学びの支援

多様なニーズに応える学びの機会充実

学びを通じたつながりづくりと
学びを活かす仕組みづくり

学びを支える情報発信と場の整備

図書館機能の充実



図書館のDX化（例：座席管理システム）

基本目標

3

豊かな環境と産業の活力で
持続的に発展するまち

施策3-1 脱炭素化の推進と豊かな自然の継承

区民の行動変容の促進

事業者の行動変容の促進

区による率先行動

グリーンインフラを活用した
持続可能なまちづくりの推進【再掲】

施策3-2 持続可能な循環型社会の構築

ごみ減量推進事業

施策3-3 区内企業の自己変革の促進

新製品・新技術開発や取引拡大等への支援 デジタル化の支援

脱炭素化の支援

施策3-4 ものづくりの次世代への承継と立地支援

ものづくり人材育成・確保の支援

企業誘致・留置の推進

産業支援施設の運営・支援

施策3-5 新たな挑戦への支援と企業同士の交流・連携機会の創出

創業支援

「HANEDA×PiO」の充実・活用

革新的な技術等を生み出すイノベーション創出

施策3-6 活気あふれる商店街づくりと魅力ある観光資源の創出・発信

商店街の活性化支援

おおたの観光魅力発信事業



南六郷創業支援施設
(六郷BASE)



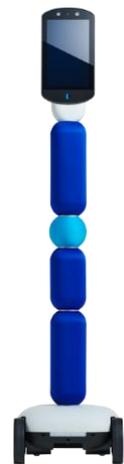
インダストリアルパーク羽田
大田区産業施設



羽田イノベーションシティ (HiCity)



産業交流空間「PiO PARK (ピオパーク)」でのアバターロボット
「newme (ニューミー)」による窓口案内支援実証実験の様子



アバターロボット
「newme」

基本目標
4

安全・安心で活気と
やすらぎのある快適なまち

施策4-1 災害に強く回復しやすい減災都市の実現

倒れないまちづくりの推進

燃えない・燃え広がらないまちづくりの推進

橋梁の強靱化

無電柱化の推進

水害から命を守る高台まちづくりの推進

施策4-2 地域力を活かした防災対策の推進

関係機関（消防・警察・自衛隊・医療関係
機関等）との連携強化

防災意識の高揚と自ら避難行動等が
判断できる環境づくり

大規模災害発生時にも生活を継続できる
体制の構築

災害発生後の生活再建と安定のための
事前対策

施策4-3 治安がよい美しいまちの実現

体感治安の向上

特殊詐欺対策の推進

消費者力の向上

屋外における喫煙対策の推進

施策4-4 地域の魅力を活かした拠点づくり

蒲田駅周辺のまちづくり

大森駅周辺のまちづくり

身近な地域の魅力づくり（下丸子駅周辺地区・平和島駅周辺地区のまちづくり）

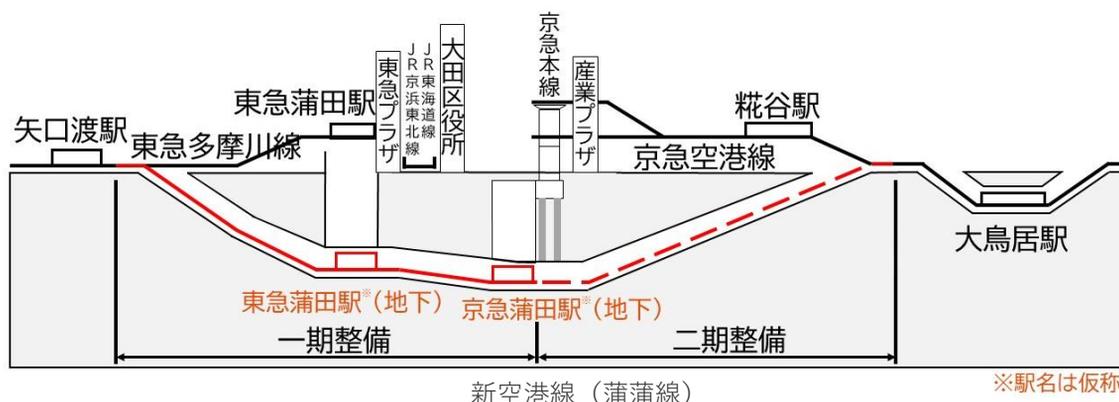
施策4-5 誰もが移動しやすく利便性の高い多様な交通ネットワークの形成

新空港線の整備促進事業

区内公共交通の改善

都市計画道路の整備

バリアフリーによるまちづくりの推進



施策4-6 誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備

橋梁の長寿命化修繕整備、橋梁点検

空家等対策の推進

自転車等利用総合対策の推進

施策4-7 世界と日本をつなぐ空港臨海部のまちづくり

内陸部と臨海部における交通アクセスの向上

ハネダ グローバル ウイングズ
HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり



HANEDA GLOBAL WINGS
(羽田空港跡地)の
都市計画公園完成イメージ

施策4-8 多彩で魅力ある公園・緑地づくり

魅力ある公園のあり方・利活用・整備方針
等の策定

地域の拠点となる公園・緑地の整備

身近な公園・緑地の整備



施策4-9 水とみどりのネットワークでやすらげる環境づくり

グリーンインフラを活用した
持続可能なまちづくりの推進

散策路の整備

呑川水質浄化対策の実施

大田区持続可能な自治体経営実践戦略【取組編】

1 職員力に基づく組織力の向上と業務の効率化

取組により実現する姿

- ✓ 職員のウェルビーイングが向上し、職員一人ひとりが主体的な挑戦を続けることで、持続的に組織力が向上しています。
- ✓ 庁内にDXが浸透するとともに、事業の見直し・再構築が進み、業務の効率化が進んでいます。
- ✓ 従来の手続を簡略化・効率化することにより、「行かない、書かない、待たない、まわらない窓口」が実現し、区民サービスの満足度が向上しています。

取組の例

人材育成、自治体DXの推進、EBPMの推進、行政評価、アウトソーシング手法の活用と検証 など

2 多様な主体との連携・協働の推進と戦略的な情報発信

取組により実現する姿

- ✓ 多様な主体それぞれが、自らの持つ特性や強みを活かし、連携・協働しながら、地域課題の解決と地域の活性化に向けて取り組んでいます。
- ✓ 様々な世代の人々が積極的にまちづくりに参加することで、満足度の高い区民サービスが提供されています。
- ✓ すべての区民に、区政に関する情報が等しく伝わっています。
- ✓ 区の多様な魅力や地域資源を踏まえた戦略的なシティプロモーションにより、区の認知度やブランドイメージが向上しています。
- ✓ 区民の大田区に対する愛着・誇りが生まれ、定住性が向上しています。

取組の例

区民協働、公民連携、シティプロモーションに資する情報戦略、誰にでも伝わる情報発信 など

3 強靱な財政基盤の構築と公共施設マネジメントの推進

取組により実現する姿

- ✓ 財政負担の軽減や財源確保の取組により、安定的な財政運営が図られています。
- ✓ 自然災害や新たな感染症の蔓延などの予期せぬ財政需要へ機動的に対応できる強靱な財政基盤が構築されています。
- ✓ 公共施設・都市インフラの強靱化や社会資本の整備といった未来への投資が着実に推進しています。
- ✓ 公共施設の適正配置が進み、計画的な維持管理と柔軟な施設活用がされています。
- ✓ 民間のアイデアやノウハウの活用により、施設利用者の利便性やサービスの質が向上しています。

取組の例

基金運用、受益者負担の適正化、補助金の適正化、施設マネジメント・施設評価など

令和7年（2025年）3月

発行 大田区 企画経営部
〒144-8621
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1735（直通）
FAX：03-5744-1502
<https://www.city.ota.tokyo.jp>